

提出書類

提出書類 1: 応募資格チェック
『応募資格チェック』記入見本

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

1. P.10～12 で確認した『応募資格(3)』と『応募資格(4)』への該当状況を、以下に記入してください。
2. 本紙は P.14～28 の『応募用紙』と一緒に提出してください。

- ※ まなべる基金（第 5 期）へは、(1)に「はい」が付き、(2)～(13)のいずれかに「はい」が付かないと応募ができません。
- ※ (2)～(13)は複数該当しても応募できますが、該当するもの全てについての証明書が必要です。必要な書類は『(4) 応募資格を証明する書類』(P.6～8)を参照してください。

(1)	家計を同一にする家族のうち、収入がある家族の「平成 27 年度所得」の合計が『応募資格(3)』の基準を下回っていますか？	・・・	<input checked="" type="radio"/> はい	・	<input type="radio"/> いいえ
(2)	①-a に該当しましたか？	・・・	<input checked="" type="radio"/> はい	・	<input type="radio"/> いいえ
(3)	①-b に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(4)	②に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(5)	③-a に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(6)	③-b に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(7)	④-a に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(8)	④-b に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(9)	⑤に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(10)	⑥に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(11)	⑦-a に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ
(12)	⑦-b に該当しましたか？	・・・	<input checked="" type="radio"/> はい	・	<input type="radio"/> いいえ
(13)	⑦-c に該当しましたか？	・・・	<input type="radio"/> はい	・	<input checked="" type="radio"/> いいえ

提出書類

提出書類 2: 応募用紙

A 奨学金願書 (1 / 7)

V. 応募用紙

A. 奨学金願書 (全 7 ページ) 『応募用紙』記入見本

応募者本人および保護者が記入してください。

1. 基本情報

応募者本人について	氏名	フリガナ トウホク ナオキ 東北 直幸 (1男・2女)	月 日 年 西暦 1999 年 11 月 17 日 (15 歳)
	現住所	※実際に居住している住所を記入してください。 〒 888 - 3798 (郵便番号は必須項目です。正しい郵便番号を記入してください。) 北東県南市東町幸町1-1-3 電話: 自宅 (0123) 45 - 6789 携帯 (090) 1234 - 5678	
	震災時住所 (注1)	※現住所と同一の場合は、『同上』と記入してください。 〒 888 - 2367 (郵便番号は必須項目です。正しい郵便番号を記入してください。) 北東県南市西町字新町2-9-3	
	震災時在籍校名 (注1)	南市 立 南第一 (小学校・中学校・高等学校)	
	中学生の方	在籍校名 _____ 立 _____ 中学校 志望校名 ◆所在地 _____ (都・道・府・県) ◆(国・公・私)立 _____ (高等学校・学校・分校) (全日制・通信制・定時制)	
	高校生の方	在籍校名 ◆所在地 北東 (都・道・府・県) ◆(国・公・私)立 北東県立 南 (高等学校・学校・分校) (全日制・通信制・定時制) ※定時制もしくは通信制の場合 _____ 年制課程	現在 1 年生
	保護者について	氏名 フリガナ トウホク ナオキ 東北 直樹	応募者との続柄 父
保護者について	現住所	※実際に居住している住所を記入してください。応募者と同じ場合も記入してください。 〒 888 - 3798 (郵便番号は必須項目です。正しい郵便番号を記入してください。) 北東県南市東町幸町1-1-3 電話: 自宅 (0123) 45 - 6789 携帯 (090) 7777 - 8888 ※平日の日中、連絡がつきやすい連絡先に○をしてください。(自宅・携帯)	
	震災時住所 (注1)	※現住所と同一の場合は、『同上』と記入してください。 〒 888 - 2367 (郵便番号は必須項目です。正しい郵便番号を記入してください。) 北東県南市西町字新町2-9-3	

(注1)『震災時』とは、平成23年3月11日時点を示します。(注2)『震災前』とは、平成23年3月10日時点を示します。

(注3)『現在』とは、平成27年9月現在を示します。

提出書類

A 奨学金願書 (2 / 7)

2.家族構成

1.家族構成について

家計を同一にする家族等(注4)について、同居・別居問わず、記入してください。

(1)現在の(注3)家族等全員の詳細を以下に記入してください。

※以下に記入した家族等全員分について、『C.住民票』(P.22)で住民票を提出してください。

続柄	氏名	年齢	勤め先名・学校名 ※パート・アルバイトも含む	(応募者との) 同居・別居
応募者	東北 直幸	15	北東県立南高等学校	
父	東北 直樹	45	東北モータース	(1.同居) 2.別居
母	東北 直美	47	(株)東北食品	(1.同居) 2.別居
姉	東北 直子	20	東北学院大学	(1.同居) 2.別居
弟	東北 直和	12	北東中学校	(1.同居) 2.別居
祖父	東北 直久	75	東北工務店	(1.同居) 2.別居
祖母	東北 ナオ	70	主婦	(1.同居) 2.別居
				(1.同居・2.別居)

(2)本人を含む家族等の人数について記入してください。

※震災前(注2)と現在(注3)で変化がない場合も記入してください。

震災前
(注2)

8

名

現在
(注3)

7

名

(3)『C.住民票』(P.22)に記載されている家族でも、何らかの事情で家計が同一でない方がいる場合は、その事情を以下に記入してください。

住民票に、記載されている東北直哉は本人の叔父にあたります。震災前、叔父は家族と同居しており、家にお金を入れておりましたので、家計は同一でした。現在は、地元には仕事がないため、隣の県で単身生活をしております。住民票に叔父はまだ掲載されていますが、家計は別になります。

3.被災の状況

1. 震災時(注1)の住居の状況について以下から当てはまる番号を選び、その番号を記入してください。

(1)家計を同一にする家族が震災時(注4)主に居住していた住居の種類について番号を1つ選んで記入してください。

1.持家(保護者名義) 2.賃貸 3.親せき宅(保護者以外の親族名義) 4.下宿 5.寮 6.知人宅

(1)

(2)上記(1)の住居の被害状況について当てはまる番号をすべて選んで記入してください。

1.全壊 2.大規模半壊 3.半壊 4.一部損害 5.福島第一原発事故の避難指示区域内 6.該当なし

(2)

. 福島第一原発事故による影響について以下から当てはまる番号を選び、その番号を記入してください。

1.震災時(注1)の自宅が帰還困難区域にある 2.震災時(注1)の自宅が居住制限区域にある
3.震災時(注1)の自宅が避難指示解除準備区域にある

(5)

4.1~3に該当しないが、福島県内の自宅から転居を伴う自主避難をした 5.該当なし

(注1)『震災時』とは、平成23年3月11日時点を示します。(注2)『震災前』とは、平成23年3月10日時点を示します。

(注3)『現在』とは、平成27年9月現在を示します。(注4)応募者と同居している家族、または別居であっても食費・交通費などの生活費に一体性がある家族のことを指します。ただし、同居している家族であっても、その家族に個別に収入があり、その家族の生活費の概ね半分以上がその収入でまかなわれている場合は、家計を同一にする家族とはみなしません。

提出書類

A 奨学金願書（3 / 7）

4.就業・収入の状況

1.現在（注3）の家族等全員の就業・収入の状況について

家計を同一にする家族等全員の就業・収入の状況について、同居・別居問わず、記入してください。

(1)『2. 家族構成』の1-(1)で記入した家族等全員について、以下に続柄、現在（注3）の就業状況、平成27年1月～7月の給与収入（手取り）・事業収入を記入してください。

※各種年金・各種手当・賠償金等の収入については次の(2)で記入してください。

※1人で複数の給与収入（手取り）・事業収入がある場合はすべての収入を合算した金額を記入してください。

※給与収入（手取り）・事業収入がない場合は、『0（万円）』と記入してください。

◆『就業状況』の欄に、以下から当てはまる番号を1つ選んで記入してください。

1.正社員 2.非正規社員（パート・アルバイト含む） 3.自営業 4.無職 5.学生（小学生～大学生） 6.未就学児

給与収入（手取り）・事業収入

続柄	就業状況	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
応募者	(5)	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円
父	(2)	19 万円	17 万円	20 万円	18 万円	22 万円	18 万円	24 万円	138 万円
母	(2)	5 万円	3 万円	7 万円	5 万円	8 万円	3 万円	4 万円	35 万円
姉	(5, 2)	1 万円	1 万円	4 万円	3 万円	3 万円	2 万円	1 万円	15 万円
弟	(5)	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円
祖父	(3)	5 万円	6 万円	5 万円	4 万円	5 万円	7 万円	5 万円	37 万円
祖母	(4)	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円
	()	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
合計		30 万円	27 万円	36 万円	30 万円	38 万円	30 万円	34 万円	225 万円

年金収入・手当収入・賠償金・保険金等

(2)『2. 家族構成』の1-(1)で記入した家族等全員について、以下に、続柄と、平成27年1月～7月の年金収入・手当収入・賠償金・保険金等その他の収入の名称・金額を記入してください。

※1人で複数のその他の収入がある場合はそれぞれ分けて記入してください。

※該当する年金収入・手当収入・賠償金・保険金等がない場合は、収入の名称に『なし』金額に『0（万円）』と記入してください。

続柄	収入の名称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
応募者	なし	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円
父	なし	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円
母	なし	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円
姉	なし	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円
弟	児童手当	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	7 万円
祖父	年金	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	70 万円
祖母	年金	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	35 万円
		万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
合計		16 万円	16 万円	16 万円	16 万円	16 万円	16 万円	16 万円	112 万円

2.東日本大震災によって一括で支払われた特別収入

東日本大震災以降、平成27年7月までに一括で支払われた特別収入（行政からの義援金、保険金、賠償金等を含む）がある場合、その総額を記入してください。

※ない場合は『0（万円）』と記入してください。

※分割で支払われているものは含めず、1-(2)の記入欄に記入してください。

160 万円

(注1)『震災時』とは、平成23年3月11日時点を示します。(注2)『震災前』とは、平成23年3月10日時点を示します。

(注3)『現在』とは、平成27年9月現在を示します。

5.被災による経済的負担(1)

この項目で記入する内容は、P.13 で『はい』に該当した項目についてのみ記入してください。確認のために、該当した項目に✓を付けて、抜け・漏れがないようにしてください。

※以下に記入した金額については、『F-1～12.応募資格を証明する書類』(P.6～8)に記載された、証明書の提出が必要になります。

<p>①現在(注3)の住居について、以下に該当する場合は、その経済的負担の金額を記入してください。該当しない場合は、『0(万円)』と記入してください。</p>	
<p>(a)震災時(注1)の住居が流出などにより居住できなくなった、住居を新たに購入した。その購入費。</p> <p>※住居の購入費の総額(ローンを組んだ方は今後の支払予定分も含む総額)を記入してください。</p> <p>※金額は、平成23年3月11日から平成27年9月までの間に発生したもので計算してください。</p> <p>※P.13『応募資格チェック』で①-aに該当した方は必ず記入してください。</p> <p>※該当する場合は、P.7『F-1』の書類の提出が必要です。</p>	<p>1,500</p> <p>万円</p>
<p>(b)震災時(注1)の住居が流出などにより居住できなくなり、現在(注3)家賃のかかる賃貸住宅に入居している。その月々の賃料。</p> <p>※P.13『応募資格チェック』で①-bに該当した方は必ず記入してください。</p> <p>※該当する場合は、P.7『F-2』の書類の提出が必要です。</p>	<p>0</p> <p>万円</p>
<p>上記(a)、(b)の状況について以下に詳しく記入してください。また、上記以外でも現在(注3)の住居の状況に関して、特に家計に影響を与える事情がある場合は記入してください。</p>	
<p>震災当時居住していた自宅は、震災時に津波の影響を受けました。全壊は免れたものの、その後基礎がダメージを受け、大規模半壊の認定を受ける状態でした。居住をすることができなかったため、仮設住宅で2年ほど暮らしましたが、祖父母にも生活の手伝いが必要となったため、自宅の再建を決めました。</p>	
<p>②震災時(注1)の住居について、以下に該当する場合は、その経済的負担の金額を記入してください。該当しない場合は、『0(万円)』と記入してください。</p>	
<p>震災時(注1)の住居が損傷し、その修繕のために費用が50万円以上かかった。その修繕費。</p> <p>※修繕費の総額(ローンを組んだ方は今後の支払予定分も含む総額)を記入してください。</p> <p>※金額は、平成23年3月11日から平成27年9月までの間に発生したもので計算してください。</p> <p>※P.13『応募資格チェック』で②に該当した方は必ず記入してください。</p> <p>※該当する場合は、P.7『F-3』の書類の提出が必要です。</p>	<p>0</p> <p>万円</p>
<p>上記の状況について以下に詳しく記入してください。また、上記以外でも現在(注3)の住居修繕の状況に関して、特に家計に影響を与える事情がある場合は記入してください。</p>	
<p>大規模半壊の認定を受けたものの、2階部分は無事だったので、居住できるかもしれないという望みがありました。しかしながら、実際に修繕をしようとすると、結局建てなおすしかない、という結論となりました。建て直しをするにあたっては、浸水被害のあった元の住所ではなく、新たに土地を購入し、再建することにしました。</p>	

(注1)『震災時』とは、平成23年3月11日時点を指します。

(注2)『震災前』とは、平成23年3月10日時点を指します。

(注3)『現在』とは、平成27年9月現在を指します。

5.被災による経済的負担(2)

<p>③福島第一原発事故の影響により避難(転居を伴う自主避難含む)し、二重生活を送っており、以下に該当する場合は、その経済的負担の金額を記入してください。該当しない場合は『0 (万円)』と記入してください。</p>	
<p>(a)家計を同一にする家族が2拠点以上に分かれて生活しており、現在(注3)住居費が発生している住居に居住している。その生活費。</p> <p>※住居にかかる費用の総額と光熱費(平成26年1月～12月の合計)をそれぞれ記入してください。</p> <p>※みなし仮設・民間借上住宅などで、現在(注3)住居費が発生していない場合は(b)で記入してください。</p> <p>※住居の購入費の総額(ローンを組んだ方は今後の支払予定分も含む総額)を記入してください。</p> <p>※住居購入費は、平成23年3月11日から平成27年9月までの間に発生したもので計算してください。</p> <p>※P.13『応募資格チェック』で③-aに該当した方は必ず記入してください。</p> <p>※該当する場合は、P.7『F-4』の書類の提出が必要です。</p>	<p>住居費</p> <p>※賃貸の場合は月々の賃料 ※購入した場合は購入費の総額</p> <p style="text-align: center;">0</p> <p style="text-align: right;">万円</p> <hr/> <p>光熱費</p> <p style="text-align: center;">0</p> <p style="text-align: right;">万円</p>
<p>(b) 家計を同一にする家族が2拠点以上に分かれて生活している。その生活費。</p> <p>※光熱費(平成26年1月～12月の合計)を記入してください。</p> <p>※P.13『応募資格チェック』で③-bに該当した方は必ず記入してください。</p> <p>※該当する場合は、P.7『F-5』の書類の提出が必要です。</p>	<p style="text-align: center;">0</p> <p style="text-align: right;">万円</p>
<p>上記(a)、(b)の状況について以下に詳しく記入してください。また、上記以外でも避難に関して、特に家計に影響を与える事情がある場合は記入してください。</p> <p style="color: red;">特にありません。</p>	
<p>④福島第一原発事故の影響により避難(転居を伴う自主避難含む)をしており、以下に該当する場合は、その経済的負担の金額を記入してください。該当しない場合は『0 (万円)』と記入してください。</p>	
<p>(a)家計を同一にする家族全員で避難(転居を伴う自主避難含む)し、転居先で住居を新たに購入した。その購入費。</p> <p>※住居の購入費の総額(ローンを組んだ方は今後の支払予定分も含む総額)を記入してください。</p> <p>※金額は、平成23年3月11日から平成27年9月までの間に発生したもので計算してください。</p> <p>※P.13『応募資格チェック』で④-aに該当した方は必ず記入してください。</p> <p>※該当する場合は、P.7『F-6』の書類の提出が必要です。</p>	<p style="text-align: center;">0</p> <p style="text-align: right;">万円</p>
<p>(b)家計を同一にする家族全員で避難(転居を伴う自主避難含む)し、現在(注3)家賃が発生している住居に入居中した。その月々の賃料。</p> <p>※P.13『応募資格チェック』で④-bに該当した方は必ず記入してください。</p> <p>※みなし仮設・民間借上住宅などで、現在(注3)住居費が発生していない場合は該当しません。</p> <p>※該当する場合は、P.8『F-7』の書類の提出が必要です。</p>	<p style="text-align: center;">0</p> <p style="text-align: right;">万円</p>
<p>上記(a)、(b)の状況について以下に詳しく記入してください。また、上記以外でも避難に関して、特に家計に影響を与える事情がある場合は記入してください。</p> <p style="color: red;">特にありません。</p>	

提出書類

A 奨学金願書 (6 / 7)

5.被災による経済的負担(3)

⑤自営業の方で、以下に該当する場合は、その経済的負担の金額を記入してください。該当しない場合は『0 (万円)』と記入してください。	
<input checked="" type="checkbox"/> 自営業に必要な機器類が流出し、新たに自己負担で機器類を購入。50万円以上の負担が発生した、その購入費。 ※機器類購入の総額（ローンを組んだ方は今後の支払予定分も含む総額）を記入してください。 ※金額は、平成23年3月11日から平成27年9月までの間に発生したもので計算してください。 ※P.13『応募資格チェック』で⑤に該当した方は必ず記入してください。 ※該当する場合は、P.8『F-8』の書類の提出が必要です。	0 万円
上記の状況について以下に詳しく記入してください。また、上記以外でも現在（注3）の自営業の状況に関して、特に家計に影響を与える事情がある場合は記入してください。	
特にありません。	
⑥家計を同一にする家族等の中で以下の状況の方がいる場合、『はい』に○を付けてください。該当しない場合は、『いいえ』に○をつけてください。	
<input checked="" type="checkbox"/> 就業していた（いる）家族が震災後、震災の影響により精神疾患を発症した。 ※P.13『応募資格チェック』で⑥に該当した方は必ず記入してください。 ※該当する場合は、P.8『F-9』の書類の提出が必要です。	(1.はい 2.いいえ)
上記の状況について以下に詳しく記入してください。また、上記以外でも現在（注3）の状況に関して、特に家計に影響を与える事情がある場合は記入してください。	
特にありません。	
⑦震災前の収入から現在を比較して減収し、以下の状況に該当する場合は、『はい』に○を付けてください。該当しない場合は、『いいえ』に○をつけてください。	
<input checked="" type="checkbox"/> (a)震災前（注2）、会社に雇用されていたが、会社が被災し廃業したため転職。その結果、給与が減収した。 ※P.13『応募資格チェック』で⑦-aに該当した方は必ず記入してください。 ※該当する場合は、P.8『F-10』の書類の提出が必要です。	(1.はい 2.いいえ)
<input checked="" type="checkbox"/> (b)福島第一原発事故の影響により避難（転居を伴う自主避難含む）し、避難先で転職した結果、収入が減った。 ※P.13『応募資格チェック』で⑦-bに該当した方は必ず記入してください。 ※該当する場合は、P.8『F-11』の書類の提出が必要です。	(1.はい 2.いいえ)
<input checked="" type="checkbox"/> (c)震災前（注2）、自営業を営んでいたが震災の影響により廃業したため転職した結果、収入が減った。 ※P.13『応募資格チェック』で⑦-cに該当した方は必ず記入してください。 ※該当する場合は、P.8『F-12』の書類の提出が必要です。	(1.はい 2.いいえ)
上記の状況について以下に詳しく記入してください。また、上記以外でも現在（注3）の就業の状況に関して、特に家計に影響を与える事情がある場合は記入してください。	
震災当時に自宅兼店舗で自動車修理業を営んでおりましたが、津波の影響で店舗だけでなく、	
機材も一式流されてしまいました。再建するために新たにローンを組むことも検討しましたが、	
自宅の再建場所として選んだ場所で事業が継続できず、現在は非正規社員として働いています。	

（注1）『震災時』とは、平成23年3月11日時点を指します。

（注2）『震災前』とは、平成23年3月10日時点を指します。

（注3）『現在』とは、平成27年9月現在を指します。

6.医療費・介護費の負担

家計を同一にする家族等で、平成 26 年 1 月～12 月の期間中に実際に負担した医療費・介護費の合計が 10 万円を超える場合は、実際に負担した医療費・介護費の合計金額と、主に治療・介護を受けている家族の続柄、要介護・障がいの状況、医療費・介護費が発生した理由を記入してください。

※該当する場合は、P.8『G』の書類の提出が必要です。

※すでに確定申告を行っていて、実際の負担額が不明な方は P.30『確定申告書 A の医療費算出方法』を参照してください。

◆『要介護・障がいの状況』について、以下から当てはまる番号をすべて選んで記入してください。該当しない場合は『なし』と記入してください。

1.要支援認定を受けている 2 要介護認定を受けている

3.障がい者手帳を所持している 4.療育手帳を所持している 5.精神障がい者保健福祉手帳を所持している

平成 26 年 1 月～12 月の期間中に実際に負担した医療費・介護費の合計金額	続柄	要介護・障がいの状況	主な病名
0 万円		()	
		()	
		()	

7.その他

これまで記入できる項目がなかった事情、お子さんに関して伝えたいこと等を記入してください。

8.署名・捺印欄

応募者本人および保護者 署名・捺印欄	公益財団法人東日本大震災復興支援財団御中 貴財団主催の『まなべる基金（第 5 期）』の募集要項に同意し、応募いたします。 なお、提出する応募書類に記入した事項の一切は、事実と相違ありません。 平成 27 年 9 月 13 日 保護者氏名（自署）： 東北 直幸 応募者本人氏名（自署）： 東北 直樹
担任の先生 署名・捺印欄	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊担任の先生へ：以下にご署名・ご捺印願います。＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 上記の生徒が本校の生徒であること、および、応募書類の『1.基本情報』に虚偽がないことを確認いたします。 平成 27 年 9 月 25 日 北東県立南高等学校 氏名（自署）： 伊藤 俊介

B. 課題作文

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

- ※応募者に障がいがあり、自筆による記入が難しい場合のみ、保護者による代筆を認めます。

【課題】 高校在籍期間中に真剣に取り組みたいことと、その取り組みを通じ学びたいこと

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is a solid vertical line on the left side, creating a margin. The top of the page has a header area with faint, illegible text. The rest of the page is empty except for the ruling lines.



←片面印刷。ホチキスどめ。

管理
欄

ID :

提出書類

C.住民票

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

<提出が必要な方>

応募者全員

<注意事項>

1. コピー可
2. 応募者と家計を同一にする家族等（注1）全員分が記載されているものを提出してください。
3. 応募者本人と別居している家族も、家計を同一にしている場合は提出してください。
4. 複数枚ある場合は、重ねて貼り付けてください。

※発行から3カ月以内のもの

※『戸籍筆頭者』『世帯主』が表示されているもの

※『A.奨学金願書』『2.家族構成』1-(1)』（P.15）で記入された家族等全員分が記載されたもの

太枠の中に貼り付けてください。

（注1）応募者と同居している家族、または別居であっても食費・交通費などの生活費に一体性がある家族のことを指します。ただし、同居している家族であっても、その家族に個別に収入があり、その家族の生活費の概ね半分以上がその収入でまかなわれている場合は、家計を同一にする家族とはみなしません。

提出書類

D-1.平成 23 年度所得証明書

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

＜提出が必要な方＞

P.6『(2) 所得を証明する書類』の項目で、(1)～(4)に該当する方

＜注意事項＞

1. コピー可
2. 応募者と家計を同一にする(注1)現在(注2)18歳以上の家族等全員分を、重ねて貼り付けてください。
3. 応募者と別居している家族も、家計を同一にしている(注1)場合は提出してください。
4. 平成23年度所得証明書とは、平成22年1月～12月分の収入の記載があるものです。
5. 平成22年1月～12月の期間中18歳未満の場合は、平成23年度所得証明書の提出は不要です。

※所得証明書は、市町村役場で発行される公的書類です。

※源泉徴収票や給与証明書では受付できません。必ず所得証明書を提出してください。

※世帯所得を確認するため、年金受給者や現在収入がない家族分も、所得証明書を提出してください。

太枠の中に貼り付けてください。



提出書類

D-2.平成 27 度所得証明書

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

＜提出が必要な方＞

P.6『(2) 所得を証明する書類』の項目で、(1)～(4)に該当する方

＜注意事項＞

1. コピー可
2. 応募者と家計を同一にする(注1)現在(注2)18歳以上の家族等全員分を、重ねて貼り付けてください。
3. 応募者と別居している家族も、家計を同一にしている場合は提出してください。
4. 平成 27 度所得証明書とは、平成 26 年 1 月～12 月分の収入の記載があるものです。

※所得証明書は、市町村役場で発行される公的書類です。

※源泉徴収票や給与証明書では受付できません。必ず所得証明書を提出してください。

※世帯所得を確認するため、年金受給者や現在収入がない家族分も、所得証明書を提出してください。

太枠の中に貼り付けてください。

提出書類

E-1.平成 22 年分確定申告書 B 控えの写し

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

＜提出が必要な方＞

P.6『(2) 所得を証明する書類』の項目で、(1)と(2)に該当する方

＜注意事項＞

1. コピーを送ってください。
2. 必ず税務署印のあるものを提出してください。
3. 応募者と家計を同一（※1）にし、自営業を営んでいる現在（※2）18 歳以上の家族等全員分を、重ねて貼り付けてください。
4. 応募者と別居している家族も、家計を同一にしている場合は提出してください。
5. 平成 22 年分確定申告書 B 控えとは、平成 22 年 1 月～12 月分の収入の記載があるものです。

※確定申告書 B 控えの写しだけでは受付できません。必ず平成 23 年度所得証明書とセットで提出してください。

※現在（※2）18 歳以上でも、平成 22 年 1 月～12 月の間に自営業を営んでいない場合は提出不要です。

※確定申告書 B 控えを紛失した場合は、管轄の税務署へ問い合わせてください。

太枠の中に貼り付けてください。



提出書類

E-2.平成 26 年分確定申告書 B 控えの写し

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

＜提出が必要な方＞

P.6『(2) 所得を証明する書類』の項目で、(1)と(4)に該当する方

＜注意事項＞

1. コピー可
2. 必ず税務署印のあるものを提出してください。
3. 応募者と家計を同一（※1）にし、自営業を営んでいる現在（※2）18 歳以上の家族等全員分を、重ねて貼り付けてください。
4. 応募者と別居している家族も、家計を同一にしている場合は提出してください。
5. 平成 26 年分確定申告書 B 控えとは、平成 26 年 1 月～12 月分の収入の記載があるものです。

※確定申告書 B 控えの写しだけでは受付できません。必ず平成 27 年度所得証明書とセットで提出してください。

太枠の中に貼り付けてください。



←片面印刷。ホチキスどめ。

管理欄

ID :

提出書類

F-1～12. 応募資格を証明する書類（該当するものを提出）

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

<提出方法>

1. 提出する『応募資格を証明する書類』を金額などが見えるように折り曲げるなどして貼り付けてください。
2. 提出する書類の詳細は P.9～11 を参照してください。

<注意事項>

応募資格を証明する書類は、コピーを取り、そのコピーを添付してください。

太枠の中に貼り付けてください。

管理欄

F-1	F-2	F-3	F-4	F-5
F-6	F-7	F-8	F-9	F-10
F-11	F-12			



提出書類

G. 医療費・介護費の領収書または確定申告書 A 控えの写し

在籍校名	北東県立 南高等学 校 1 年	氏名	東北 直幸
------	-----------------	----	-------

＜提出が必要な方＞

平成 26 年 1 月～12 月の間に実際に負担した医療費・介護費が年間 10 万円以上の方

※それ以外の方は提出しないでください。

＜注意事項＞

1. コピー可
2. 応募者と家計を同一にする家族（注 1）に該当する費用が発生している場合のみ提出してください。
3. 該当する領収書全てをコピーし、金額が見えるように重ねて貼り付けてください。
4. 確定申告で医療費控除を申請した場合は、確定申告書 A 控えの写しを提出してください。

太枠の中に貼り付けてください。